

第37回国研集会 個人アンケート まとめ

回答総数：149（web回答）+692(農林)=841名

1. 一般質問

- Q1～Q4

2. 全体質問

- Q5、Q9、Q10

← 今年のテーマに関する質問

3. 研究系の方に対する質問

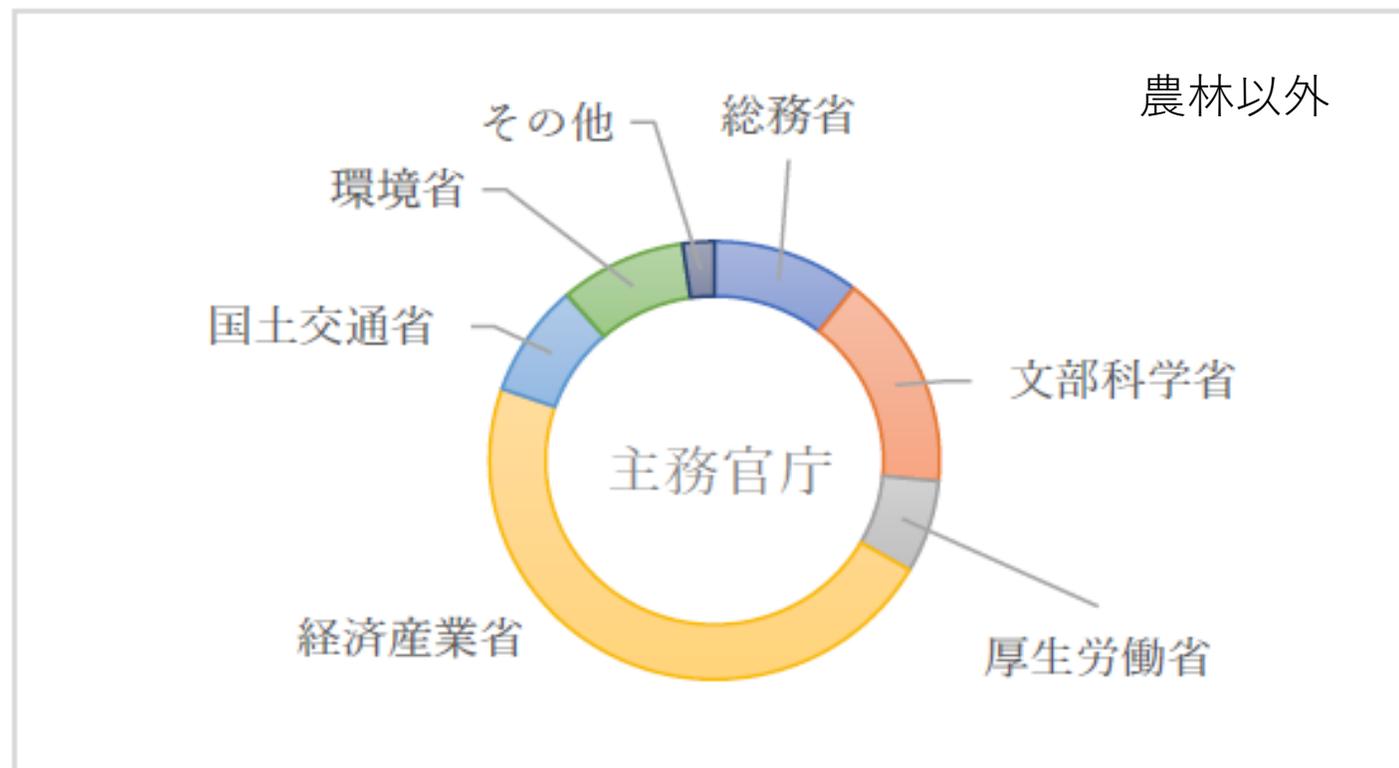
- Q6、Q7

4. 研究系以外の方に対する質問

- Q8

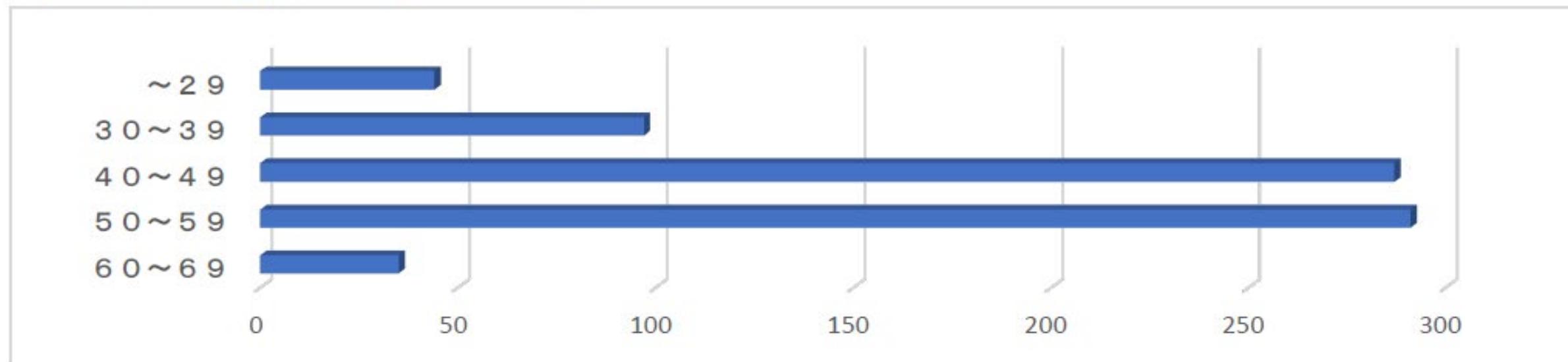
← 訂正をお願いします

Q.1 あなたが所属する研究機関の主務官庁をお選びください。

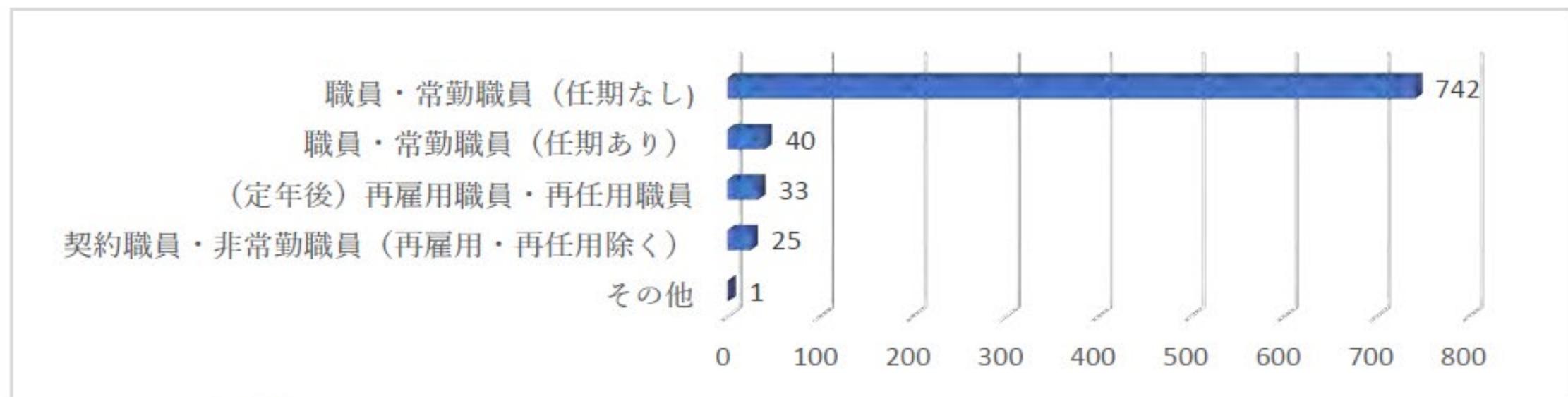


農林：農林以外 = 5 : 1

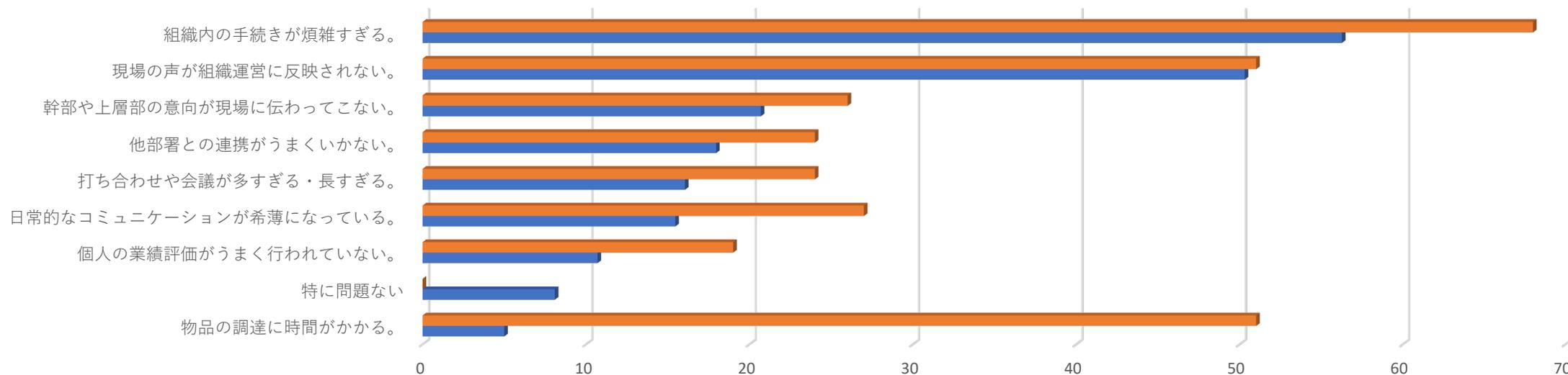
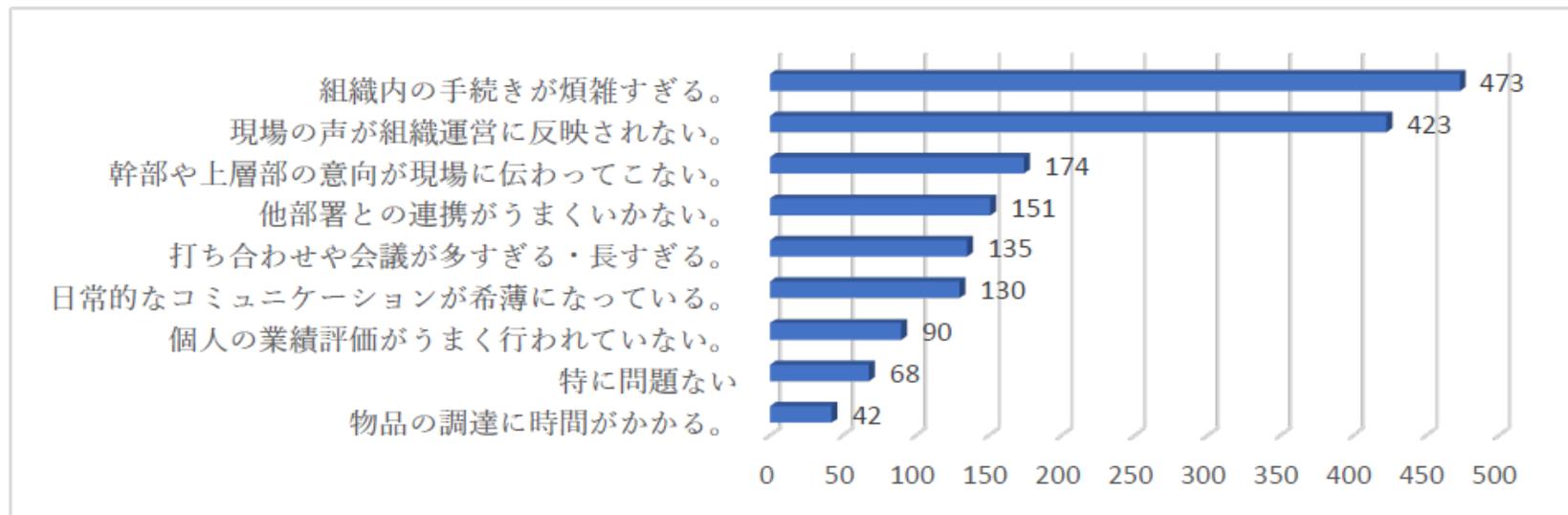
Q.2 あなたの年齢をお選びください。



Q.3 あなたの現在の雇用形態をお選びください。

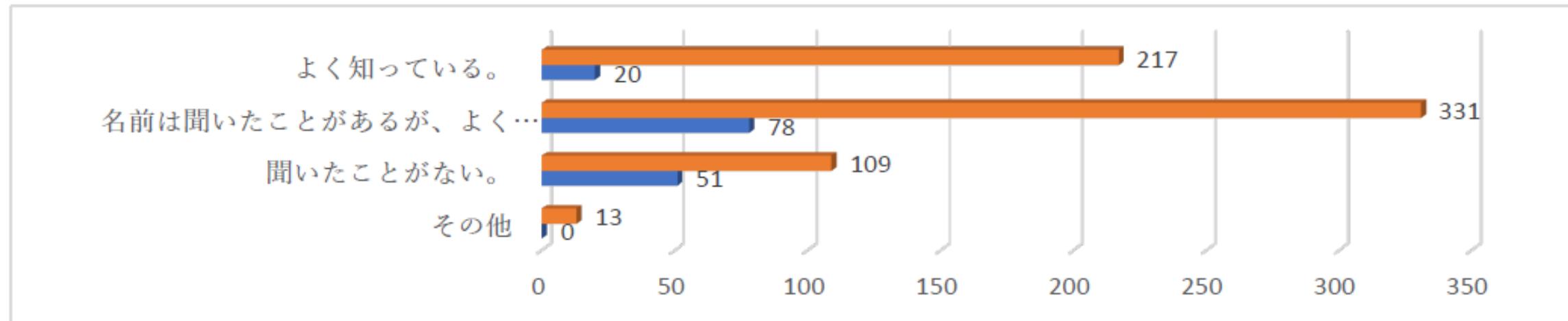


Q.5 あなた所属する研究機関では組織運営上でどのような傾向（または問題）があると感じていますか。（複数回答可）

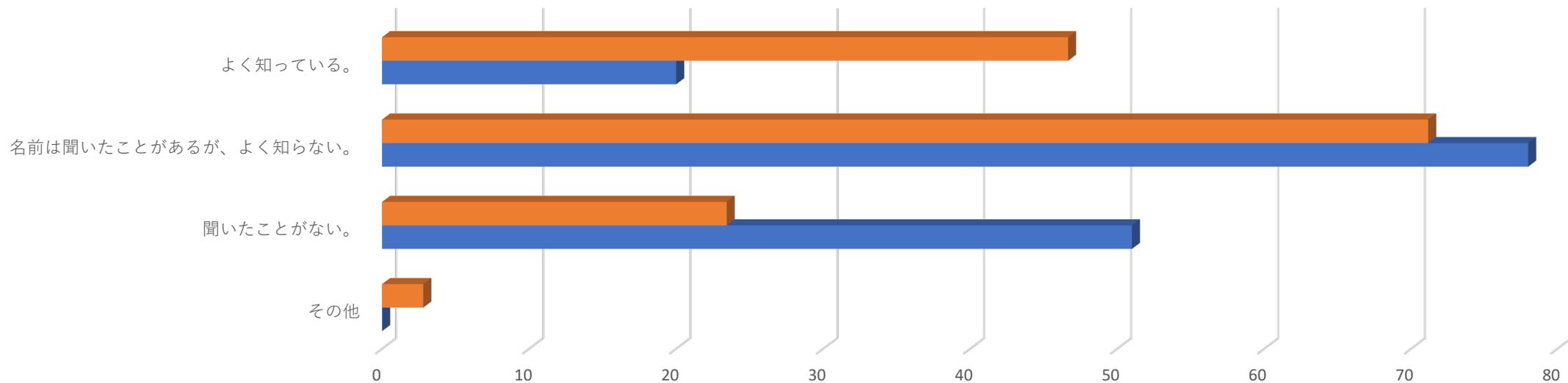


昨年との比較

Q.9-1 あなたは、ソサエティ 5.0 を知っていますか。

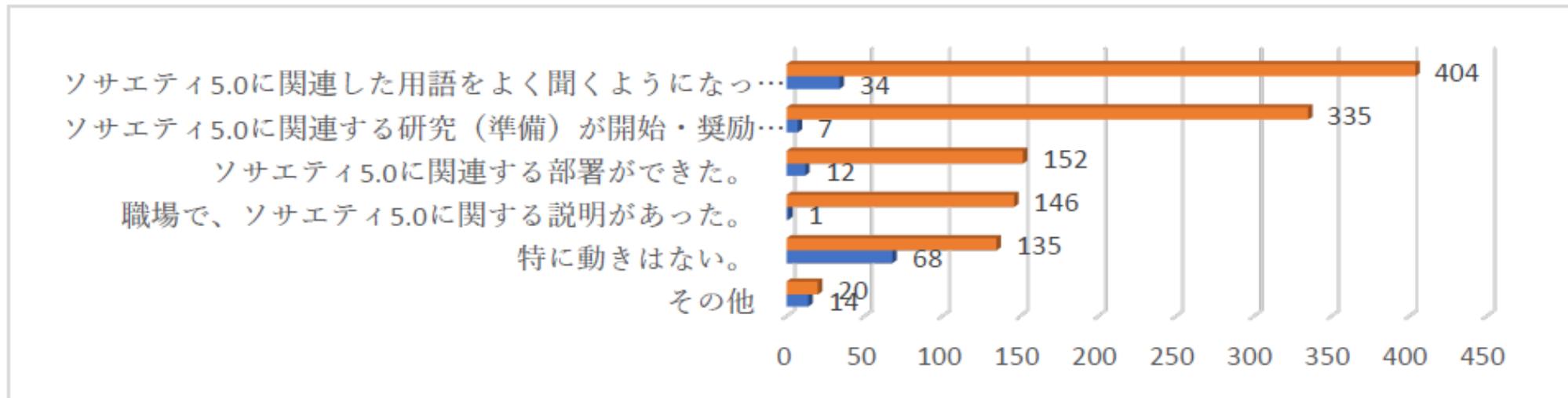


(上：農林、下：農林以外)

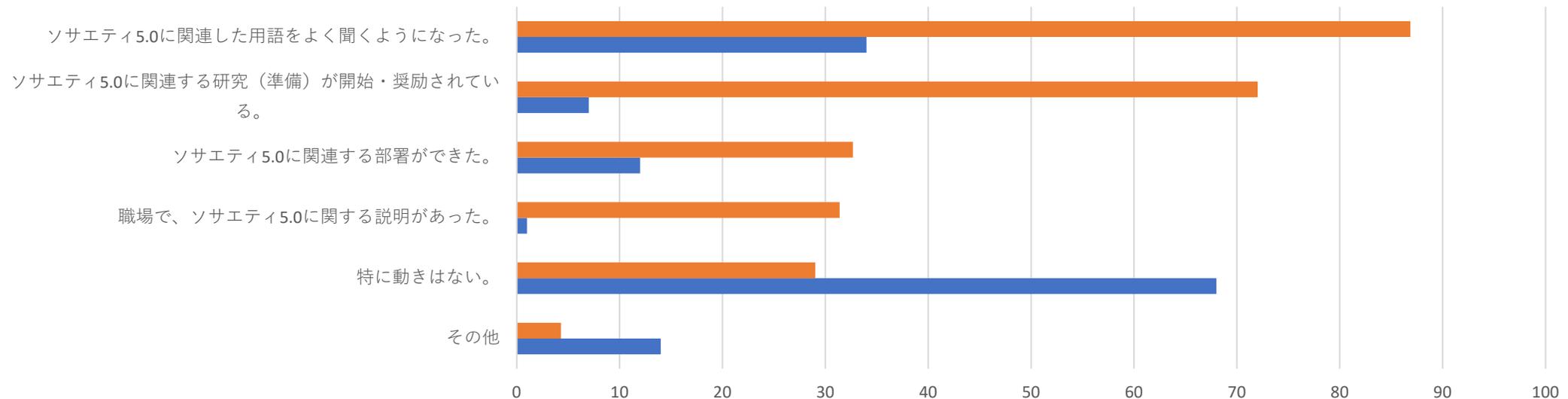


割合

Q.9-2 あなたの職場で、ソサエティ 5.0 に関連した動きはありますか。（複数回答可）

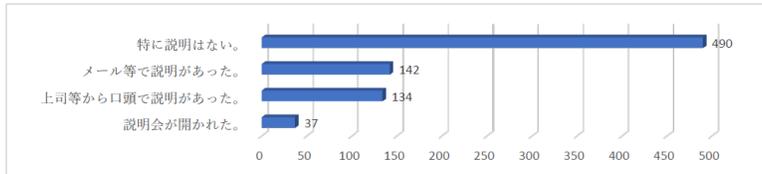


（上：農林、下：農林以外）

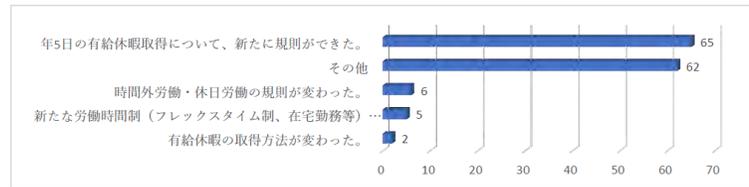


割合

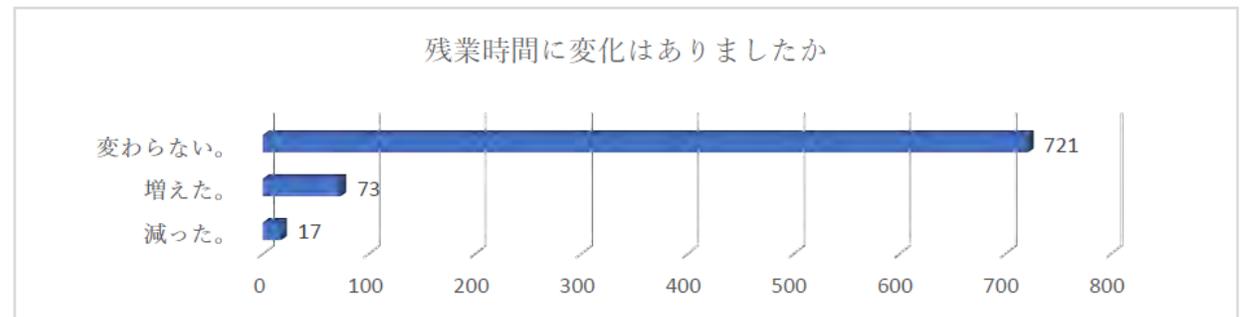
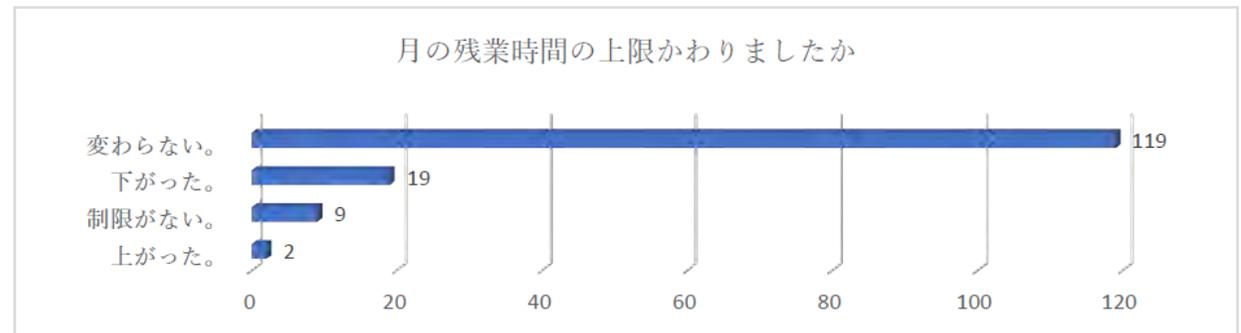
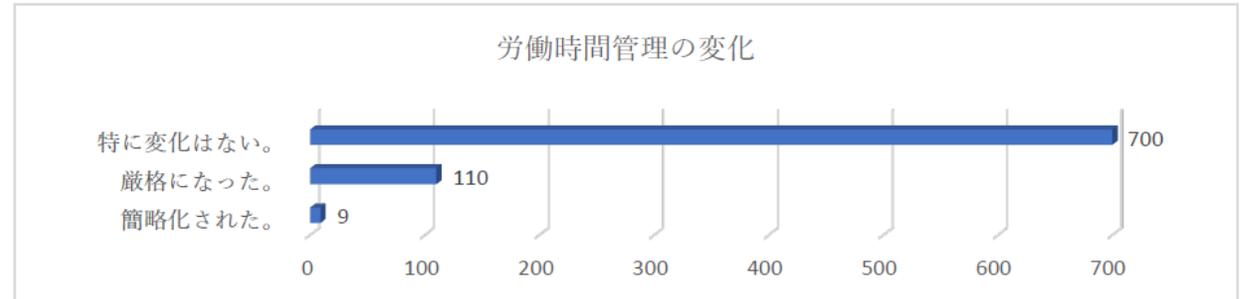
Q.10-1 あなたの職場では、「働き方改革」に関連する法令・就業規則等の改正について説明がありましたか。（複数回答可）



Q.10-3 職場の労働環境について、今年の4月以降何か変化はありましたか。（複数回答可）

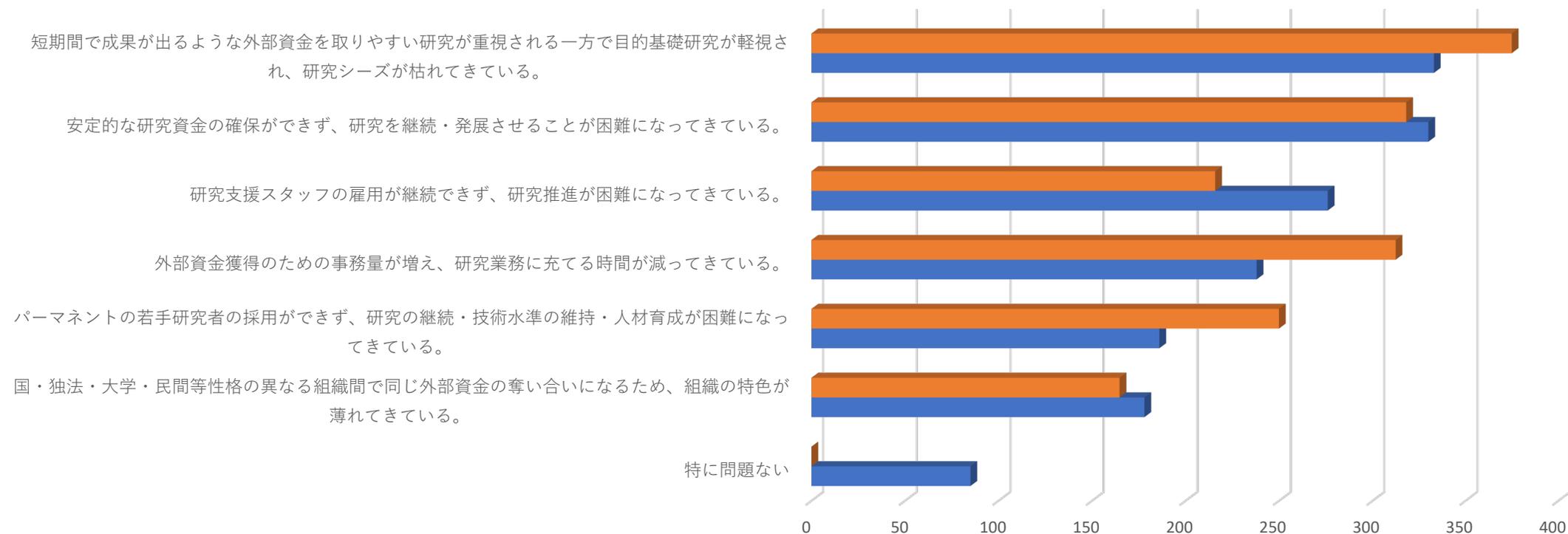


Q.10-2 今年の4月以降、職場の労働時間（管理）について変化はありましたか。選択肢から一つお選びください。



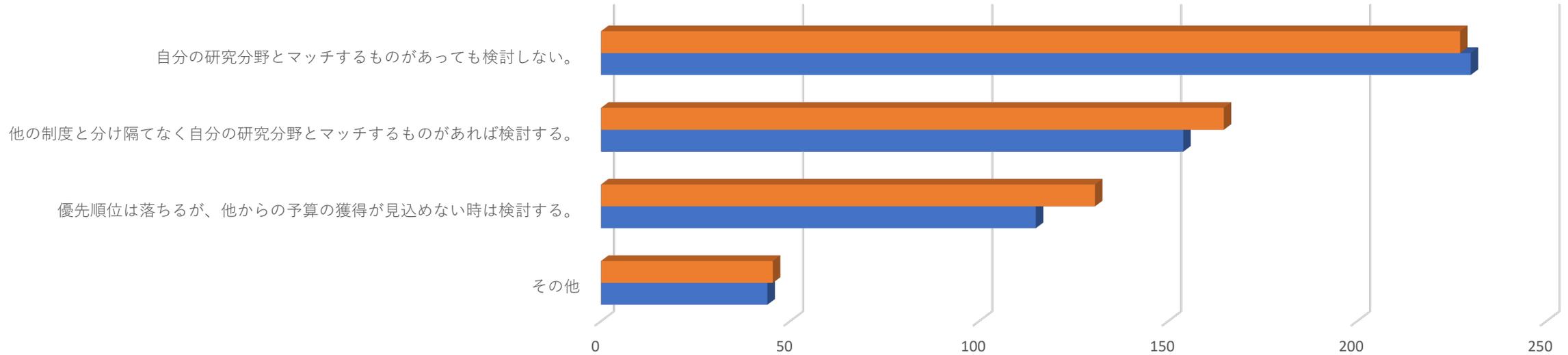
3. 研究系の方への質問

Q.6 経常研究費が毎年削減されていますが、どのような弊害を感じていますか。あてはまるものの全てお答えください。



昨年との比較

Q.7 経常研究費が毎年削減されている一方で、防衛装備庁における安全保障技術研究推進制度予算は、（中略）あなたはこの制度の予算獲得を検討しますか。あてはまるものを一つだけお答えください。



昨年との比較

- 私の分野はこの予算の内容とかけ離れているので検討すらしたことはない。ただこの種の研究のニーズ自体は理解できる。
- 以前、レーション（糧食）関係で助言したことあり。
- 私は、防衛研究に対して無条件で悪と決めつけるようなことは致しません。しかし、増額が多いとは感じる。某国の軍事的挑発と米国の負担軽減を望む動きが影響していると感じている。
- 民生につながる、直結する防衛装備開発も多いので、一律に批判的対応は思考停止と思われる。内容の精査が必要。
- 軍事研究自体は、日本の安全確保のために大切なものである。そのためには、機密を十分に確保した環境で行う必要がある。その意味で、大学・研究法人で軍事研究を行うことは危険である。十分な予算を確保したうえで、クローズドな環境でしっかりと研究を行ってほしい。
- もっと国防費を増やすべき。
- 有事の国内食料生産など考えても良い。兵器を嫌う気持ちはわかるが、それほど平和で内ことを自覚すべき。
- 兵站の研究など自国軍の人命保護のための研究であれば行っても良いと思う
- 他国による農作物の病原体散布などの危険にさらされた際の防衛的研究には農研機構は積極的に関わるべきではないか？

以外

4. 研究系の方への質問

Q.8 あなたの所属する研究機関で業務をすすめるにあたって、どのような問題を感じていますか。あてはまるもの全てお答えください。

